

Victory +a

記録機プラスアルファ用

個人用記録機の使い方



セッティング

セットの確認
動作の確認
ロフトアンテナの設置方法

操作

記録機の基本操作
レース時の手順
訓練モードの使い方

トラブル予防・解決

メンテナンス
レースで失敗しないために
トラブルの解決方法

セットの確認



最初に記録機セットの中身を確認してください。

- 記録機
- 5m ケーブル
- AC アダプター
- ストラップ

記録機セット内容			
			
記録機 +a	5m ケーブル	AC アダプター	ストラップ

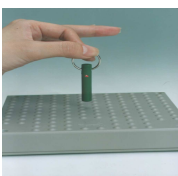


【注意】

記録機裏面に、乾電池を入れるスペースがありますが、
乾電池は使用しないでください。
必ず AC アダプターからの電源で使用してください。

オプション類

用途に合わせてお求めください。

予備アダプター 	20cm ケーブル 	5m ケーブル 	15m ケーブル 
 記録機ケース 持ち運びに便利な バッグです。 大事な記録機を 保護します。	 ケーブル♀♀ ケーブル同士を 接続します。 最大 100m まで接 続可能です。	 ケーブル♂♀ 記録機の接続口保 護のためのケーブ ルです。	
 アンテナテスター アンテナが感知 可能な状態か調 べるテスター。	 アンテナロ 感知漏れ防止の誘導ゲートです。 (写真のプラスチックの部分 5 枚設置)		

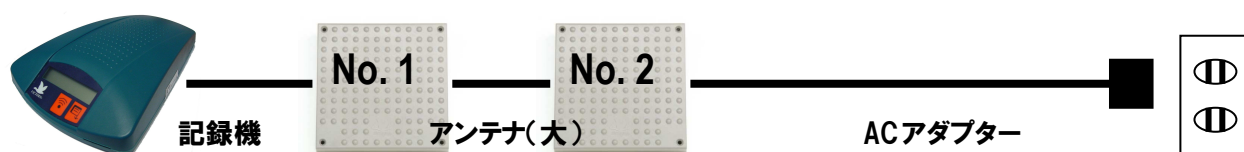
動作の確認

鳩舎に設置する前に、全てを接続して動作の確認をしてください。

記録機とアンテナの接続手順

ステップ1. アンテナを番号順に並べて、アンテナ同士をケーブルでつなぐ

ステップ2. AC アダプターをコンセントに差込み、末尾のアンテナにつなぐ



ステップ3. 記録機は①データ線(細い方)→②電源線(太い方)の順番に差し込む



【起動の方法】

電源を差し込むと自動的に起動します。

ステップ4. 記録機が起動し、画面左下のアンテナ数が正しく表示されたら OK



【アンテナ数とは？】

記録機を含めて、現在接続されているアンテナの数を表示します。

上のセットの場合、「3」と表示されます。

ロフトアンテナの設置方法

アンテナの基本性能

アンテナには以下のような特徴があります。

【重要】

1つのアンテナに2羽乗った場合は
どちらも感知しません。

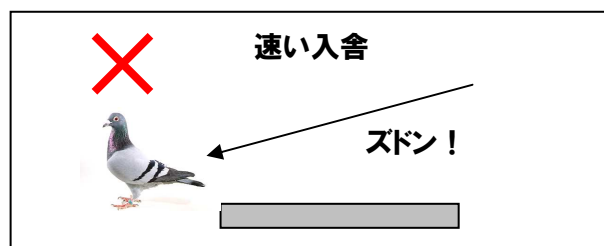
…1羽ずつアンテナ上に入るように仕切りを設ける



【重要】

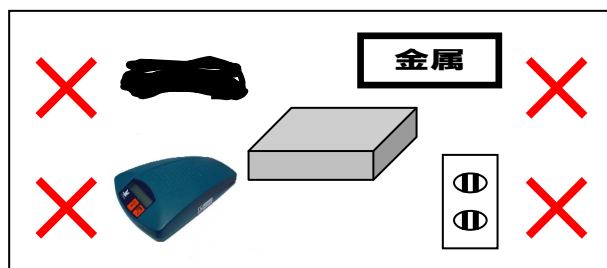
入舎するとき、
鳩の速度が速いと感知しません。

…手前で減速し、アンテナ上を歩くようにする



【重要】

記録機、ケーブルの束、コンセント、
金属製のもの、アルミホイル等…
これらをアンテナの周囲に置くと
感度に影響を与えます。



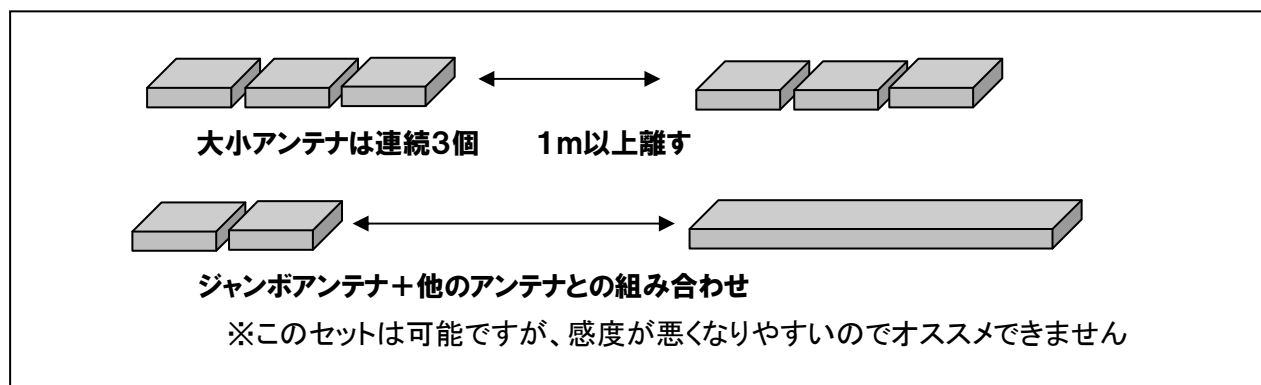
【重要】

アンテナ上では
チップリングが縦でないと感知しません。



【重要】

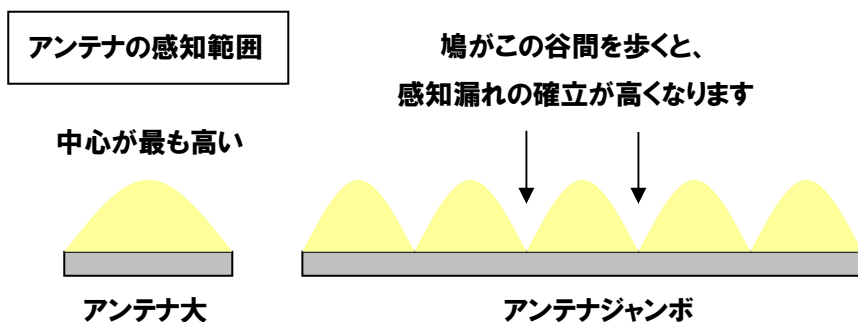
大小は連続3個まで、それ以上の場合は1m以上離して設置が必要です。
ジャンボアンテナと他のアンテナは1m以上離さなくてはなりません。



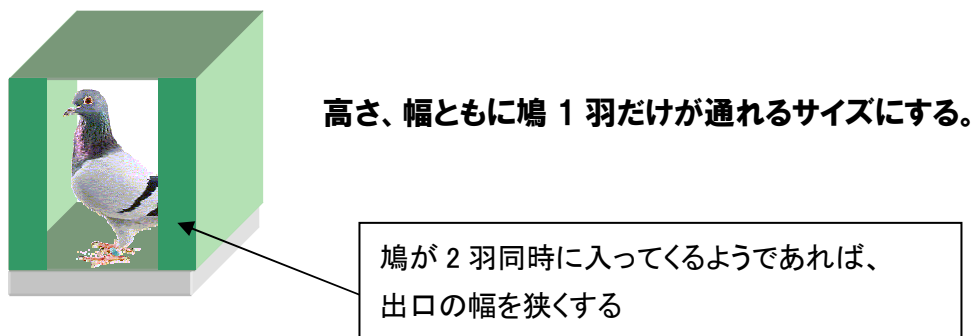
ロフトアンテナの設置

アンテナ設置の基本ルール

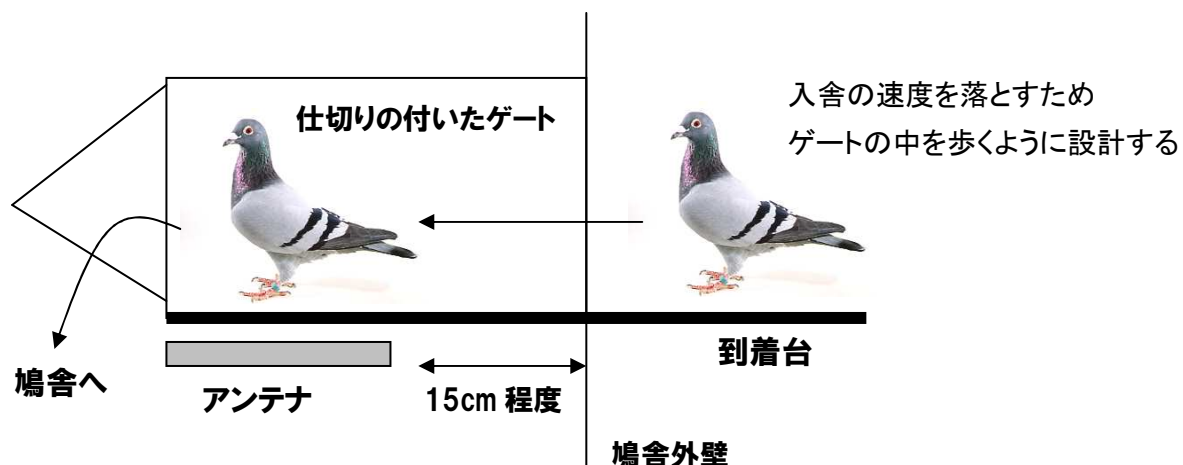
ポイント1. 「鳩が1羽ずつ順番にアンテナの中心を歩く」ような設計にすること。



ポイント2. 必ずアンテナ上に仕切りのゲートを設置すること。

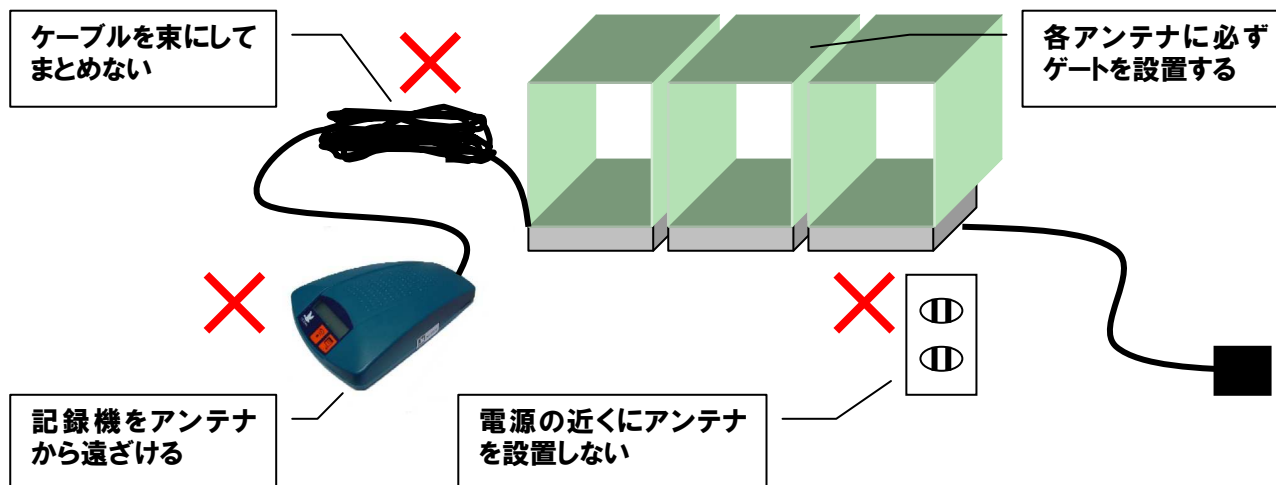


ポイント3. 入舎の速度を落とすために、アンテナ手前15cm程度は鳩を歩かせること。



ロフトアンテナの設置

ポイント4. アンテナ周辺に記録機、金属、電気のコンセント、配線をおかないこと。



電源関係

アンテナをうまく設置したのに感知が悪い場合、電源関係を点検してみる必要があります。
電気配線工事をしたら改善された例が今までに数例ありました。

1. コンセントや配線の位置に注意する

電気の配線、コンセントは少なくとも 1m 以上離すこと。誤動作が起きることがあります。
ヴィクトリーのケーブルはガチガチに束ねないこと。

2. 電源を点検する

電源をテスターで測って 95～105V の範囲なら OK です。

引き込み線は F ケーブル 1.6mm 以上のものが必要です。それ以下ですと感知性能が落ちる可能性があります。

それでも改善されない場合は・・・

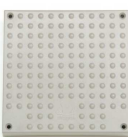
→ ホームセンター等で販売されている 12V の携帯用バッテリーの使用を検討します。

ロフトアンテナの設置

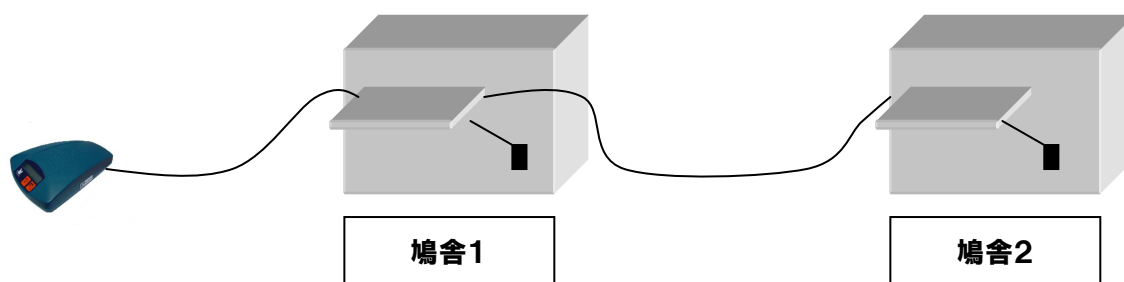
ケーブル配線

1. 余った部分をガチガチに束ねて置かないこと。ケーブルは延ばして配線すること。
2. 配線する場合はホースに通すこと。(ねずみによる断線防止)
3. ステイブル留めする際にはケーブルを傷つけないこと。
4. ケーブル先端の金属部分は常にきれいにしておくこと。
5. ケーブル接続した後、グルーガンで差込み部分を軽く固定(糊付け)すると良いです。
※コーキングだと後で取れなくなってしまうです。

最大接続数と AC アダプターの追加

ロフトアンテナの種類			
種類			
名称	アンテナ(小)	アンテナ(大)	アンテナ(ジャンボ)
サイズ	9×15cm	15×15cm	75×15cm
接続可能 台数	連続 3 個まで 最大 9 個まで	連続 3 個まで 最大 9 まで	1 個まで アンテナ大小連結 3 個まで

- 大小なら 6 個程度までを推奨します。
- アンテナジャンボと大小の組み合わせはなるべく避けること。
- アンテナ同士を長い距離離して設置する場合は、AC アダプターを途中に追加すること。
例えば以下の場合、各鳩舎に AC アダプターを設置してください。



記録機の基本操作

記録機の操作方法と画面の説明

1. 電源を入れて起動する

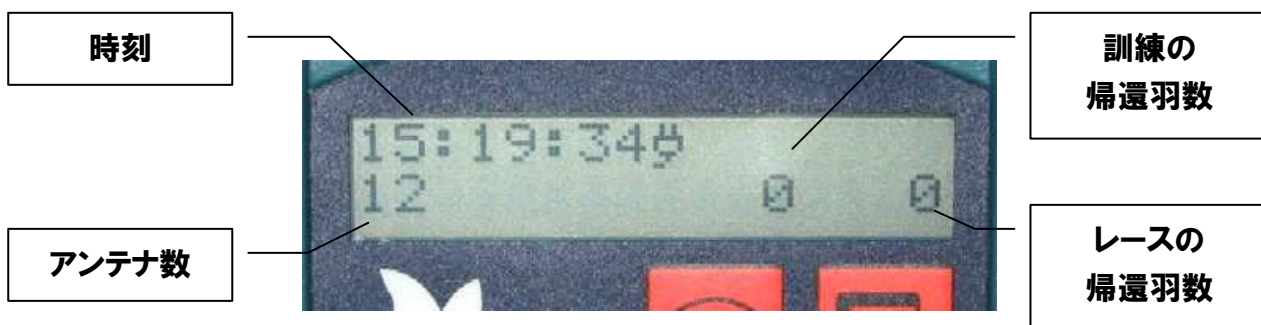
①データ線(細い方)→②電源(太い方)のケーブルを順番で差し込むこと。

電源を差し込むと自動的に起動します。



2. 通常画面

起動後、バージョン No、ユーザー名とシリアル番号が表示されてから通常画面に切り替わります。源が入っている時は、通常この画面です。



3. 帰還記録表示画面(パート1)

帰還の記録がある場合、①左ボタンを1回押して記録表示画面にします。この画面で②右ボタンを押していくと、順番に記録が表示されます。



記録機の基本操作

4. 帰還記録表示画面(パート2)

この表示のまましばらく置くと、時刻表示が日付表示(写真下)に変わります。
さらに置くと時刻表示に戻ります。

帰還日時



③左ボタン: 通常画面へ

左ボタンをもう1度押すと通常画面に戻ります。
操作中に鳩が帰還しても問題なく感知されます。

レース時の手順

持ち寄り後～鳩の帰還までの手順

持ち寄りが終わり、アンテナにセットして鳩の帰還を待つまでの手順

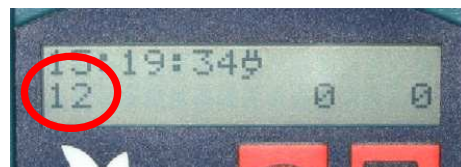
ステップ1. 持ち寄り作業が終了。記録機を鳩舎に持ち帰ります。

ステップ2. アンテナと接続して電源を入れます。

…帰ってすぐに接続しなくても大丈夫です。帰還日にセットすれば OK です。

ステップ3. 左下のアンテナ数を確認します。

【アンテナ数】 アンテナの台数+1



ステップ4. テスト用チップリング^(***以下囲み参照)でアンテナ感度をチェックします。

1. アンテナと接続して電源をオンにしてください。
2. アンテナの上にテスト用チップリングをかざしてください。
3. 「ピッピッ」とチップを読み取る音が聞こえれば OK !

…音がしない場合は差込みを点検してください。

ご注意. 記録機の上では感知させないでください。失格扱いになります!!!

ステップ5. 鳩が帰還すると、記録機が「ピーピー」と鳴って知らせます。

- 帰還記録を見ている時に帰還しても問題ありません。
- 持ち寄り登録した鳩以外は感知しません。
- 記録したデータは、パソコンでしか消去できません。

***【テスト用チップリングについて】

ヴィクトリースーパーと+アルファをお使いの方に限り、チップリングを使ってアンテナの感度テストをすることができます。セットの電源を入れて登録済みのチップをアンテナ上にかざすと、「ピッピッ」と音がします。これで感知の高さを測ってください。

- テスト用チップリングには、鳩の脚環番号とは全く関係のない英字や番号を登録してください。

訓練モードの使い方

訓練モードの利用

【訓練モードとは】

パソコンを使った持ち寄り登録なしでも、チップリングを感知できるモード。

主に以下のことに利用できます。

- 個人訓練、舎外訓練時の鳩の帰還時刻を記録
- チップリングに登録された番号が分からなくなったとき
- アンテナの感知テスト

1. 訓練モードにする

記録表示画面になっている場合、通常画面に戻してから、右ボタンを3秒間長押しします。

『TRAINIG ACTIVE』が表示された後、画面中央上段に『T』が表示されたら訓練モードです。

レースモードになっている時は、訓練モードは使用できません。クラブシステムに接続して、レースモードを解除してください。



訓練モードオンの画面

2. 訓練モードを解除する

左ボタンを3秒間長押しします。

このとき表示されている時計の進行が止まります。

右下の『TRAINIG OFF』が表示された後、画面中央上段の『T』の表示が消えたら訓練モードが解除されました。

訓練モードが解除され、内部の記録が削除されます。



訓練モードオフの画面

3. 訓練モード中の画面操作

通常の操作方法で帰還記録を見ることができます。



訓練モード
マーク

訓練モード
帰還羽数

右ボタンを3秒間長押しで
訓練モード ON/OFF

メンテナンス

記録機

1. 差込み口は時々綿棒などで拭いてきれいにしてください。

クラブで一つ、電気製品の接点洗浄剤などを用意してください。持ち寄りで集まるたびに、毎回洗浄剤を使って拭いてから作業に入ると接触不良が防げます。

2. 記録機に激しい衝撃を与えないでください。

落としたりして激しい衝撃を与えると、以下のような症状がでることがあります。

- 電源は入るが、時計が進まない。
- 画面表示がおかしくなる
- 内部のコイルが外れて、持ち寄り感度が鈍くなる。

ケーブル

1. 断線には特に気をつけてください。

特にケーブル♀♀で、ケーブルを延長して使用されている方。

2. ケーブル先端部分は常にきれいにしておいてください。

湿気や水濡れなどで劣化、腐食が起こった状態で使用すると予期しない誤動作がおきることがあります。

3. サビや腐食が起きたら必ずケーブルを交換してください。

誤動作によって記録機本体やアンテナが故障します。



予備をご用意いただいたほうが確実です。

先がこのような前に
ケーブルは交換すること

アンテナ

差込み口に雨水が入り込まないようにしてください。

ショートする可能性があります。

ラップで巻いたり、アンテナ上に板を敷いたり(10mm まで)して、なるべく綺麗にお使い下さい。

レースで失敗しないために

レースに失敗しないためには、レース前に十分な準備をしておかなくてはなりません。

もちろん感知精度が上がるように当社はお手伝いをいたします。

しかし、そのためにはご自身がレース前に問題点を知り、当社にご相談いただかなくてはスムーズな解決にはなりません。テストはご自身で十分に行ってください。

初めて設置した後のテスト

ご購入後、テストなしでいきなりレースに使うとほぼ 100% 失敗します。

必ずご自身でテストを行い、感知具合を確認してからレースに臨んでください。

万全の設置ができたとしても、舎外訓練のときのように鳩が団子状態で入舎する場合には、感知漏れが必ず起こるものと考えてください。

感知漏れが多く起こる場合は、当冊子を参考にして工夫・改良を行ってください。

日常点検

重要

普段から舎外訓練時に訓練モードを使用して、日常的にアンテナの感度や接続を確かめてください。

すべての電子入舎装置は 100% ではありません。

屋外で使うものですから劣化しますし、機械ですから故障してしまうこともあるでしょう。

レース前にチェックをすれば、早くトラブルに気づいて対処ができます。

それがレース前であれば何ら問題がないのです。

シーズンオフには全く使用せず、レース本番でいきなり使用して初めて故障に気づくケースが非常に多いのが現状です。

シーズンオフに一度でも使用していれば気がつくようなケースがほとんどです。

問題に早く気がつくことが重要です。

早めに対処すれば、実際のレースで失敗する確立も減ります。

トラブルの解決方法

記録機の電源が入らない

この問題の原因として以下のことが考えられます

- 接続の不良
- ケーブルの故障
- アダプターの故障
- アンテナの故障
- 記録機の故障

アダプターから直接記録機に差し込んで電源が入るかどうか試してください。

電源入らず

電源入った

ケーブルの先が劣化していないか？
ケーブルが断線しているところがないか？

劣化・断線していた

ケーブルに異常なし

アダプターを
交換してください。

ケーブルを
交換してください。

アンテナ自身が故障している可能性が高いです。

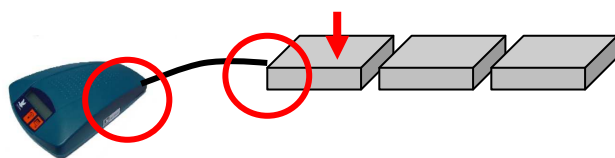
トラブルの解決方法

アンテナ数が正しく出ない

この問題の原因として以下のことが考えられます

- 接続の不良
- ケーブルの故障
- アンテナの故障

「1」と出る場合

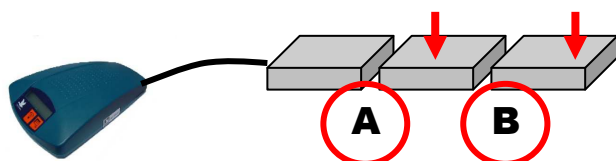


「1」と出る場合の原因

丸印の接続不良
ケーブルの劣化、断線
1 番目のアンテナが故障

いつもより数字が少なく出る場合

※下の場合「4」が正しいアンテナ数



「2」と出る場合の原因

A の接続不良、ケーブルの劣化、断線
2 番目のアンテナが故障

「3」と出る場合の原因

B の接続不良、ケーブルの劣化、断線
3 番目のアンテナが故障

該当する箇所を以下のように点検してください

ケーブルの先端と、差込みの穴の汚れをきれいに拭いて下さい。
「接点改良スプレー」「接点洗浄剤」などをスプレーするとより効果があります。



ケーブルの先が劣化していないか？
ケーブルが断線しているところがないか？



劣化・断線していた

ケーブルを交換してください。



ケーブルに異常なし

アンテナ故障の可能性が高いです。

トラブルの解決方法

アンテナ数が正しく出ているのに記録しない (以前はきちんと記録していた場合)

この問題の原因として以下のことが考えられます

- 接続の不良
- ケーブルの劣化
- 記録機、アンテナの差込み口の劣化

記録機の起動時は正常に接続となったので、アンテナ数が正しく表示されたが、途中でデータ線の接続が切れてしまったことが原因です。
ご購入いただいて比較的時間の経っている方に起こりやすい問題です。

ヴィクトリー記録機は、途中で接続が切れた場合でも最初に表示されたアンテナ数がそのまま表示され続けます。

予防方法

ほとんどの場合、記録機の差込み口、アンテナの差込み口とケーブルの先端をきれいにしておくことで予防できます。
また、レース時アンテナとセットしたときに感知テストを確実に行ってください。

+アルファ

テスト用チップリングをアンテナ上にかざして感度をチェックしてください。
ピッピッと音がすれば感知は OK です。

***【テスト用チップリングについて】

ヴィクトリースーパーと+アルファをお使いの方に限り、チップリングを使ってアンテナの感度テストをすることができます。セットの電源を入れて登録済みのチップをアンテナ上にかざすと、「ピッピッ」と音がします。これで感知の高さを測ってください。

- テスト用チップリングには、鳩の脚環番号とは全く関係のない英字や番号を登録してください。

トラブルの解決方法

感知漏れが起こる、感知が悪い

全く感知しなかったのか？ それとも 1 部か？ なにか法則はあるか？

- 例えば 10 羽目以降感知していない・・・
- 特定のアンテナを通った鳩は感知しない・・・
- いつも特定の鳩が感知しない・・・

1. 以前は大丈夫だったのに今回感知漏れが起こった場合。

機器の故障

アンテナ・記録機・アダプターの電源部のショート、誤動作、ケーブルの劣化。

チップリングの問題

持ち寄り登録時に読み取り不良が起きた場合、チップの中身が壊れてしまうことがあります。

・・・予防法についてはクラブ用マニュアルを参照

2. いつも感知漏れが起こっている場合。

日常から感知漏れが起こっている場合は、必ずご自身で以下を点検してください。
もちろん当社でもお手伝いいたしますが、レース本番で失敗する前にご相談ください。

機器の故障

アンテナ・記録機・アダプターの電源部のショート、誤動作、ケーブルの劣化。

アンテナ設置方法の問題

仕切りゲートや高さ制限を設けているか？等・・・

アンテナ設置環境の問題

まとめたケーブルがアンテナや記録機の近くにないか？等・・・

その他の要因

猛禽類に追われて勢い良く入舎すると、感知しないことがあります。

団子状態の入舎だと、感知しないことがあります。

トラブルの解決方法

ディスプレイの表示がおかしい

文字の(液晶の)一部が欠ける

- 液晶の破損
- 基盤との接触不良

早めに修理交換をお申し出下さい。

おかしい表示が出る／文字化けする

- 液晶の破損
- 基盤との接触不良
- 基盤の損傷
- 内部電池切れ

ユーザー名の部分のみの文字化けは、ユーザー名登録時に半角カタカナで入力すべきところを、全角で入力していることが原因です。

時刻が止まって表示されている

- 基盤の損傷

時刻が表示されない

- 内部電池切れ

訓練モードにならない

- ボタンの接触不良